

# NEC

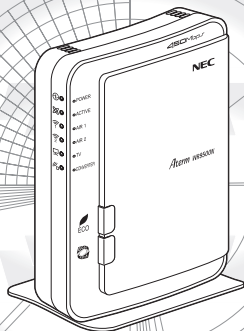
レンタル品

◎◎◎ **Aterm® WR9500N(KC)**  PA-WR9500N(KC)

イーサネットコンバータ

## 取扱説明書 (K) 第1版

ご使用前に、本書を必ずお読みください。  
また、本書は読んだあとも大切に保管してください。



**XSPAN**  
ATHEROS

技術基準適合認証品



# はじめに

エーターム  
『AtermWR9500N (KC)』は、離れた場所\*にあるイーサネット (LAN 端子) を持つ装置でも、無線 LAN アクセスポイント (親機) 経由をすることでネットワークの利用を可能にするイーサネットコンバータ (変換装置) です。  
\*電波の届く範囲内でご利用ください。

ご利用いただける無線 LAN アクセスポイント (親機) についての最新情報は、別紙に記載のホームページをご確認ください。

本書では、本商品の設置・接続のしかたから、設定方法、困ったときの対処まで、本商品を使いこなすために必要な事項を説明しています。

本商品をご使用の前に、本書を必ずお読みください。また、本書は、読んだ後も大切に保管してください。

Aterm は、日本電気株式会社の登録商標です。

らくらく無線スタートは、NEC アクセステクニカ株式会社の登録商標です。

Windows®、Windows Vista® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows Vista® はオペレーティングシステムです。

Mac、Macintosh、MacOS、AirMac、Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Oracle と Java は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。

Atheros、XSPAN のロゴは、Atheros Communications, Inc. の商標であり、NEC アクセステクニカ株式会社は同社の許可に基づき、同社のために当該商標を使用しています。

その他、各会社名、各製品名およびサービス名は各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation 2012 © NEC AccessTechnica, Ltd. 2012

日本電気株式会社および NEC アクセステクニカ株式会社の許可なくソフトウェア、および取扱説明書の全部または一部を複製・改版、および複製物を配布することはできません。




# 目次

目次	2
安全にお使いいただくために必ずお読みください	3
1 はじめにお読みください	1-1
1-1 WR9500N (KC) ができること	1-2
1-2 添付品を確認する	1-4
1-3 各部の名前とはたらき	1-5
1-4 あらかじめ確認してください (パソコンをご利用の場合)	1-8
2 設置・接続	2-1
2-1 設置する	2-2
2-2 無線利用したい装置と接続する	2-7
3 設定する	3-1
3-1 無線設定の手順について	3-2
3-2 らくらく無線スタートで無線設定する	3-3
3-3 パソコンのIPアドレスを確認する	3-7
3-4 WWW ブラウザから無線設定する	3-8
3-5 通信する	3-14
3-6 WR9500N (KC) の設定について	3-15
4 お困りのときは	4-1
4-1 トラブルシューティング	4-2
4-2 初期化する	4-7
5 付録	5-1
5-1 製品仕様	5-2

# 安全にお使いいただくために必ずお読みください

## 安全に正しくお使いいただくための表示について

本書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全に正しくお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。

-  **警告** : 人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
-  **注意** : 人が軽傷を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
-  **お願い** : 本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

### 図記号の説明

#### ■ 警告・注意を促す記号



発火注意



感電注意



高温注意

#### ■ 行為を禁止する記号



一般禁止



分解禁止



水ぬれ禁止



ぬれ手禁止



火気禁止






#### ■ 行為を指示する記号










電源プラグをコンセントから抜け

## 警告














### 電源

- AC100Vの家庭用電源以外では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。    
差込口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品のACアダプタを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災、感電、故障の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。    
火災、感電の原因となります。また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災、感電の原因となります。
- 本商品のACアダプタは、たこ足配線にしないでください。たこ足配線にするとテーブルタップなどが過熱、劣化し、火災の原因となります。 

## 警告




- ACアダプタは、必ず本商品に添付のものをお使いください。また、本商品に添付のACアダプタは、他の製品に使用しないでください。感電、故障の原因となります。
- ACアダプタに物をのせたり布を掛けたりしないでください。過熱し、ケースや電源コードの被覆が溶けて火災、感電の原因となります。
- 本商品のACアダプタは日本国内AC100V (50/60Hz) の電源専用です。他の電源で使用すると火災、感電、故障の原因となります。
- ACアダプタは風通しの悪い狭い場所（収納棚や本棚の後ろなど）に設置しないでください。過熱し、火災や破損の原因となります。ACアダプタは、容易に抜き差し可能な電源コンセントに差し込んでください。
- ACアダプタ本体が宙吊りにならないように設置してください。電源プラグと電源コンセント間に隙間が発生し、ほこりによる火災が発生する可能性があります。

### こんなときは









- 万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに本商品のACアダプタをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、別途示す修理受け付け先またはお問い合わせ先に修理をご依頼ください。お客さまによる修理は危険ですから絶対におやめください。
- 本商品を水や海水につけたり、ぬらさないでください。万一内部に水が入ったり、ぬらした場合は、すぐに本商品のACアダプタをコンセントから抜いて、別途示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本商品のACアダプタをコンセントから抜いて、別途示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 電源コードが傷んだ（芯線の露出・断線など）状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに本商品のACアダプタをコンセントから抜いて、別途示す修理受け付け先またはお問い合わせ先に修理をご依頼ください。

## 警告






### こんなときは

- 万一、本商品を落としたり破損した場合は、すぐに本商品のACアダプタをコンセントから抜いて、別途示す修理受け付け先またはお問い合わせ先に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。




### 禁止事項

- 本商品は家庭用の通信機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。  
社会的に大きな混乱が発生する恐れがあります。
- 本商品を分解・改造しないでください。火災、感電、故障の原因になります。
- めれた手で本商品を操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。
- 本商品の内部や周囲でエアダスターやダストスプレーなど、可燃性ガスを使用したスプレーを使用しないでください。引火による爆発、火災の原因となります。










### その他のご注意


- 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。
- 本商品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。電子機器や心臓ペースメーカなどが誤作動するなどの原因になることがあります。  
また、医療用電子機器の近くや病院内など、使用を制御された場所では使用しないでください。
- 本商品のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり中に入った場合、火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生する恐れがあります。

## ⚠ 注意

- 風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用はしないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。









### 設置場所

- 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
- 温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本商品の内部に結露が発生し、火災、感電、故障の原因となります。
- 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災<sup>(※)</sup>の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。
  - ・収納棚や本棚、箱などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
  - ・じゅうたんや布団の上に置く
  - ・テーブルクロスなどを掛ける
- 本商品を重ね置きしないでください。重ね置きすると内部に熱がこもり、火災<sup>(※)</sup>の原因となることがあります。また、必ず添付のスタンドを使用して、本商品の両側は十分なスペースを確保してください。




※周囲の状況やトラッキングによる火災の可能性がありますので、十分な注意をお願いします。
- 本商品は垂直面以外の壁や天井などには取り付けしないでください。振動などで落下し、故障、けがの原因になります。

## ⚠ 注意

### 電源

- 本商品の電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。  
- 本商品の電源プラグとコンセントの間のほこりは、定期的（半年に1回程度）に取り除いてください。火災の原因となることがあります。 
- 移動させる場合は、本商品の AC アダプタをコンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認のうえ、おこなってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。   
- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品の AC アダプタをコンセントから抜いてください。 
- 本商品の使用中、長時間にわたり一定箇所を触れたままになっていると低温やけどを起こす可能性があります。 

### 禁止事項

- 本商品に乗らないでください。特に小さいお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。 
- 雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。 
- 取扱説明書にしたがって接続してください。間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。 

## STOP お願い

### 設置場所

- 本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のようなところへの設置は避けてください。
  - ・振動が多い場所
  - ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
  - ・電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びている場所や電磁波が発生している場所（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）
  - ・高周波雑音を発生する高周波マシン、電気溶接機などが近くにある場所
- 本商品をコードレス電話器やテレビ、ラジオなどの近くで使用すると、コードレス電話器の通話にノイズが入ったり、テレビ画面が乱れるなどの受信障害の原因となる場合があります。このような場合は、お互いを数m以上離してお使いください。
- 無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）の距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生する場合があります。このような場合は、お互いを 1m 以上離してお使いください。
- 本商品とコードレス電話機や電子レンジ、他のアクセスポイントなど、電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信が切れる場合があります。また、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、発信・着信が正しく動作しない場合があります。このような場合は、お互いを数 m 以上離してお使いください。
- 本商品を壁掛けで使用する場合、同じ場所に長期間設置すると、壁紙が変色（色あせ）する場合があります。

### 禁止事項

- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。
- 本商品を移動するときは、パソコンから取り外してください。故障の原因となることがあります。
- 動作中に接続コード類が外れたり、接続が不安定になると誤動作の原因となります。動作中は、コネクタの接続部には絶対に触れないでください。

## STOP お願い

- 本体の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10秒以上間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らないことがあります。

### 日ごろのお手入れ

- 本商品のお手入れをする際は、安全のため必ず AC アダプタをコンセントから抜いてください。
- ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからふきしてください。ただし、コネクタ部分は、よくしぼった場合でもぬれた布では絶対にふかないでください。
- 水滴がついている場合は、乾いた布でふき取ってください。

### その他のご注意

- 通信中にパソコンの電源が切れたり、本商品を取り外したりすると、通信ができなくなり、データが壊れることがあります。
- 本商品プラスチック部品の一部が、光の具合によってはキズのように見える場合があります。プラスチック製品の製造過程で生じることがありますが、構造上および機能上は問題ありません。

### 無線 LAN に関するご注意

- 無線 LAN の規格値は、本商品と同等の構成を持った機器との通信をおこなったときの理論上の最大値であり、実際のデータの転送速度を示すものではありません。
- 本商品は他社製 IEEE802.11n 準拠製品との相互接続性を保証しておりません。
- 無線 LAN の伝送距離や伝送速度は壁や家具・什器などの周辺環境により大きく変動します。
- 5.2GHz、5.3GHz 帯域の屋外での使用は電波法により禁止されています。

## 無線 LAN 製品ご使用におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

### ●通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報、メールの内容などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

### ●不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN 端末や無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。

## ワイヤレス機器の使用上の注意

- 本商品は、技術基準適合証明を受けています。
- 本商品は、IEEE802.11n (5GHz) および IEEE802.11a 通信利用時は 5GHz 帯域の電波を使用しております。5.2GHz、5.3GHz 帯域の電波を屋外で使用することは電波法により禁じられています。
- W53 (52/56/60/64ch)、W56 (100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140ch) を選択した場合は、法令により次のような制限事項があります。
  - ・ 各チャンネルの通信開始前に、1 分間のレーダー波検出を行いますので、その間は通信を行えません。
  - ・ 通信中にレーダー波を検出した場合は、自動的にチャンネルを変更しますので、通信が中断されることがあります。
- IEEE802.11n (2.4GHz)、IEEE802.11b、IEEE802.11g 通信利用時は、2.4GHz 帯域の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します。）が運用されています。
- IEEE802.11n (2.4GHz)、IEEE802.11b、IEEE802.11g 通信利用時は、2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式および、OFDM 方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。



- 2.4 : 2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す  
 DS/OF : DS-SS 方式および OFDM 方式を示す  
 4 : 想定される干渉距離が 40m 以下であることを示す  
 ■■■ : 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

- (1) 本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- (2) 万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
- (3) その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、別途示すお問い合わせ先にお問い合わせください。





# 1

## はじめにお読みください

1

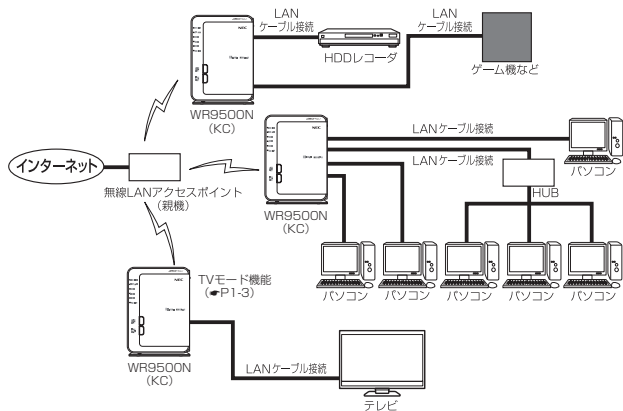
WR9500N (KC) を設置、接続する前に必ず確認しておきましょう。

- 1-1 WR9500N (KC) でできること……………1-2
- 1-2 添付品を確認する……………1-4
- 1-3 各部の名前とはたらき……………1-5
- 1-4 あらかじめ確認してください  
(パソコンをご利用の場合)……………1-8

# 1-1 WR9500N (KC) でできること

本商品は、IEEE802.11n、IEEE802.11a、IEEE802.11b、IEEE802.11gに対応したイーサネットコンバータタイプの無線LAN端末（子機）です。同じ無線LAN規格に対応した無線LANアクセスポイント（親機）と、離れたところから無線通信することができます。

※アドホック通信はご利用になれません。



- WR9500N (KC) に接続する機器は、10台以下でのご使用をお勧めします。
- ご利用いただける無線LANアクセスポイント（親機）についての最新情報は、別紙に記載のホームページをご確認ください。

- IEEE802.11nまたはIEEE802.11a通信でW52帯、W53帯、W56帯対応  
 本商品はIEEE802.11nまたはIEEE802.11a通信においてW52帯、W53帯、W56帯に対応しており、IEEE802.11nまたはIEEE802.11a通信をご利用の場合に、W52帯、W53帯ではそれぞれ最大4チャンネル、W56帯では最大11チャンネルがご利用になれます。

タイプ	チャンネル	周波数帯域
W52	36, 40, 44, 48ch	5.2GHz帯 (5150-5250MHz)
W53	52, 56, 60, 64ch	5.3GHz帯 (5250-5350MHz)
W56	100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch	5.6GHz帯 (5470-5725MHz)

ただし、W52帯、W53帯、W56帯は使用している周波数帯／チャンネルが異なるため通信できない組み合わせがあります。

以下の相互接続一覧表を参照のうえ、ご注意ください。

バージョンアップ対応機種などの最新情報は、別紙に記載のホームページなどでご確認ください。

		無線LAN端末 (子機)	WR9500N (KC) (W52/W53/W56 対応)
無線LANアクセスポイント (親機)			W52/W53/W56
W52/W53/W56 対応の 無線LANアクセスポイント (親機)	W52 W53 W56		◎
W52/W53 対応の 無線LANアクセスポイント (親機)	W52 W53		○
J52 対応の無線LANアクセスポイント (親機) で、W52 に対応した場合	W52		△ (W52のみ)

◎：W52帯 (5150-5250MHz)、W53帯 (5250-5350MHz)、W56帯 (5470-5725MHz) を使用して、最大19チャンネルから選択が可能です。

○：W52帯 (5150-5250MHz)、W53帯 (5250-5350MHz) を使用して、最大8チャンネルから選択が可能です。

△：W52帯 (5150-5250MHz) を使用して、最大4チャンネルから選択が可能です。

## ■TVモード機能に対応

TVモードに対応した無線LANアクセスポイント (親機) に無線接続し、安定したストリーミング画像を視聴することができます。

TVモード機能をご利用になる場合は、WR9500N (KC) のクイック設定 Web を起動し (●P3-15)、「詳細設定」の [5GHz/2.4GHz 優先接続切替] で「5G」が選択された状態で、らくらく無線スタートで設定してください。(●P3-3)

※工場出荷状態では「5G」に設定されています。

無線接続後、TVランプが緑点灯すれば、TVモード機能を利用することができます。

## 1-2 添付品を確認する

設置をはじめる前に、添付品がすべてそろっていることを確認してください。不足しているものがある場合は、別途示すお問い合わせ先にご連絡ください。

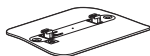
### ● 構成品

WR9500N (KC)

※保護シートが貼ってありますので、はがしてご利用ください。



スタンド



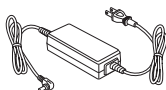
LAN ケーブル

(緑色/約2m/カテゴリ5e ストレート)



AC アダプタ

(品番: AL1-003057-001)



※ACアダプタは、必ず本商品に添付のものをお使いください。また、本商品に添付のACアダプタは、他の製品に使用しないでください。感電、故障の原因となります。

取扱説明書 (本書)

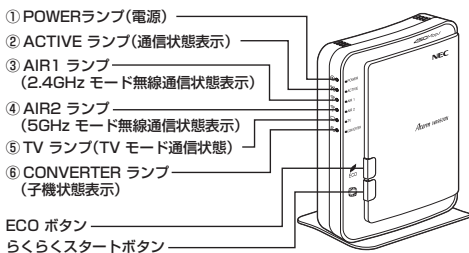


無線LANつなぎかたガイド  
「らくらく無線スタート」対応  
機種用 (別紙)



# 1-3 各部の名前とはたらき



## 前面／側面（表）図






1

はじめにお読みください

### [ランプ表示]

ランプの種類	ランプの色 (つきかた)	状態
①POWERランプ (電源) 	緑 (点灯)	電源が入っているとき
	緑 (点滅)	らくらく無線スタートで設定をしているとき (●P3-3)
	橙 (点灯)	ファームウェアをバージョンアップしているとき (※) らくらく無線スタートの設定が完了したとき
	橙 (点滅)	らくらく無線スタートで設定をしているとき (●P3-3)
	赤 (点灯)	らくらく無線スタートに失敗したとき
	赤 (点滅)	初期化準備状態
②ACTIVEランプ (通信状態表示) 	緑 (点灯)	無線 LAN アクセスポイント (親機) とのリンクが確立しているとき
	橙 (点滅)	IP アドレスを競合検出したとき (●P4-3)
	消灯	無線 LAN アクセスポイント (親機) とのリンクが確立されていないとき
③AIR1ランプ (2.4GHzモード無線通信状態表示) 	緑 (点灯)	2.4GHzモードの電波強度が「強」で、通信可能なとき
	緑 (点滅)	2.4GHzモードの電波強度が「強」で、データ受信しているとき
	橙 (点灯)	2.4GHzモードの電波強度が「普通」で、通信可能なとき
	橙 (点滅)	2.4GHzモードの電波強度が「普通」で、データ受信しているとき
	赤 (点灯)	2.4GHzモードの電波強度が「弱」で、通信可能なとき
	赤 (点滅)	2.4GHzモードの電波強度が「弱」で、データ受信しているとき
	消灯	2.4GHzモードの電波が届いていないとき 無線 LAN 接続設定がされていないとき

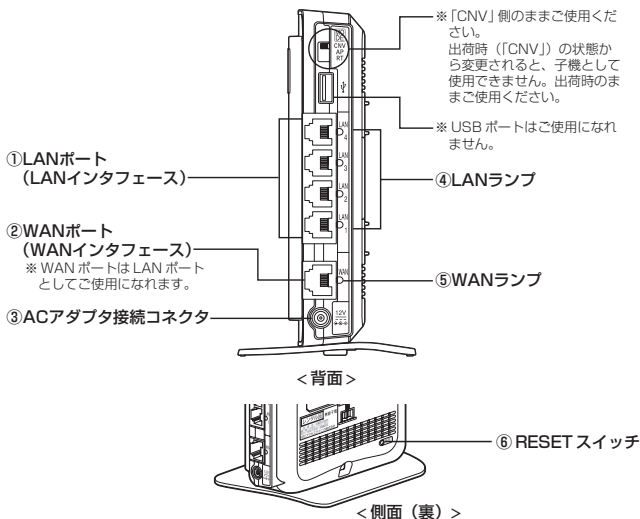
ランプの種類	ランプの色 (つきかた)	状態
④AIR2 ランプ (5GHzモード無線 通信状態表示) 	緑 (点灯)	5GHzモードの電波強度が「強」で、通信可能なとき
	緑 (点滅)	5GHzモードの電波強度が「強」で、データ受信しているとき
	橙 (点灯)	5GHzモードの電波強度が「普通」で、通信可能なとき
	橙 (点滅)	5GHzモードの電波強度が「普通」で、データ受信しているとき
	赤 (点灯)	5GHzモードの電波強度が「弱」で、通信可能なとき
	赤 (点滅)	5GHzモードの電波強度が「弱」で、データ受信しているとき
	消灯	5GHzモードの電波が届いていないとき 無線 LAN 接続設定がされていないとき
⑤TV ランプ (TVモード通信状態) 	緑 (点灯)	5GHzモードかつ拡張モードでTVモードに対応した無線LANアクセスポイント(親機)とのリンクが確立しているとき
⑥ CONVERTER ランプ (子機状態表示) 	緑 (点灯)	無線 LAN 端末 (子機) (CONVERTER) モードで動作しているとき
	緑 (点滅)	WR9500N (KC) の DHCP サーバ機能が動作しているとき (●P3-8)

(※)ファームウェアまたは設定情報を自動的に書き換えている場合も、POWER ランプが橙点灯しますので、絶対に電源を切らないでください。故障の原因となります。

#### 【設定ボタン】

名称	説明
ECO ボタン	WR9500N (KC) では、ECO ボタンは使用できません。
らくらくスタート ボタン	らくらく無線スタートで設定するときに使用します。(●P3-3)
	WR9500N (KC) の DHCP サーバ機能を動作させるときに使用します。(●P3-8)

## 背面図／側面（裏）図



名称	説明	
① LANポート (LANインタフェース)	パソコンまたはゲーム機などと接続します。	
② WANポート (WANインタフェース)	LANポートとして使用することができます。	
③ ACアダプタ接続コネクタ	WR9500N用ACアダプタを接続します。	
④ LANランプ	緑（点灯）	LANポートのリンクが確立しているとき
	緑（点滅）	LANポートがデータ送受信しているとき
	消灯	LANポートのリンクが確立していないとき
⑤ WANランプ	緑（点灯）	WANポートのリンクが確立しているとき
	緑（点滅）	WANポートがデータ送受信しているとき
	消灯	WANポートのリンクが確立していないとき
⑥ RESETスイッチ	初期化するときに使用します。（●P4-8）	

## あらかじめ確認してください (パソコンをご利用の場合)

### パソコンなどの接続機器の確認

お使いのパソコンが WR9500N (KC) をご利用になれる環境になっているか順番に確認してください。

- ・ WWW ブラウザの設定が「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」になっていること (☛P1-9)
- ・ LAN ポート (ETHERNET ポート) を装備していること  
お使いのパソコンに LAN ポートがない場合は、本商品の設置をはじめる前に、1000BASE-T / 100BASE-TX / 10BASE-T または 10BASE-Te 対応の LAN ボードまたは LAN カードを取り付けておいてください。
- ・ TCP/IP プロトコルスタックに対応していること  
必要なネットワークコンポーネントがインストールされていない場合は、パソコンの取扱説明書を参照してインストールしてください。
- ・ パソコンのネットワークの設定を確認すること (☛P3-7)
- ・ WWW ブラウザ (クイック設定 Web) で設定をおこなう場合は、JavaScript の設定を有効にすること (☛P1-10)

### WWW ブラウザのバージョンを確認する

WR9500N (KC) は、以下の WWW ブラウザで設定できます。

<設定できる WWW ブラウザ>

- Windows® 7 の場合  
Internet Explorer 9.0
- Windows Vista® の場合  
Internet Explorer 9.0
- Mac OS X v10.6 の場合  
Safari 5.0

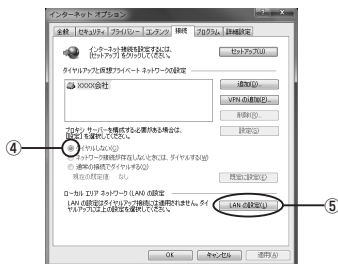
※指定以外のブラウザを使用する場合、表示・設定で正しく動作しない場合があります。正しくご利用いただくためには指定のブラウザでご使用ください。

## WWW ブラウザの設定確認

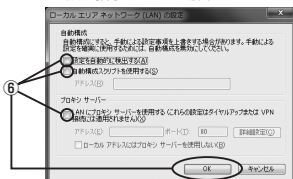
WWW ブラウザ (Internet Explorer など) の接続設定を「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」に変更します。

以下は Windows® 7 で Internet Explorer 9.0 をご利用の場合の設定方法の一例です。お客様の使用環境 (プロバイダやソフトウェアなど) によっても変わりますので、詳細はプロバイダやソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

- ① Internet Explorer を起動する。
- ② [ツール] の [インターネットオプション] を選択する。
- ③ [接続] タブをクリックする。
- ④ **ダイヤルアップ** の設定の欄で、**[ダイヤルしない]** を選択する。  
※ グレーアウトしている場合は、⑤へお進みください。



- ⑤ **[LAN の設定]** をクリックする。
- ⑥ **[設定を自動的に検出する]**、**[自動構成スクリプトを使用する]**、**[LAN にプロキシサーバーを使用する]** の  を外して **[OK]** をクリックする。  
プロバイダからプロキシの設定指示があった場合は、したがってください。



- ⑦ **[OK]** をクリックする。

## JavaScript の設定を確認する

WWWブラウザ（クイック設定 Web）で設定をおこなうには JavaScript の設定を有効にする必要があります。

※ WWW ブラウザの設定でセキュリティを高く設定した場合、本商品の管理者パスワードの設定ができないことがあります。設定ができない場合は、以下の手順で JavaScript を「有効にする」に設定してください。

### Windows® で Internet Explorer をご利用の場合

以下は、Windows®7で Internet Explorer 9.0 を使用している場合の例です。なお、Windows Vista® で設定する場合も、下記と同様の手順で設定できます。

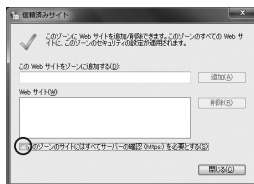
1 [スタート] (Windows® のロゴボタン) - [コントロールパネル] - [ネットワークとインターネット] - [インターネットオプション] をクリックする

※Windows Vista®の場合は、[スタート] (Windows®のロゴボタン) - [コントロールパネル] - [クラシック表示] - [インターネットオプション] をダブルクリックします。

2 [セキュリティ] タブをクリックし、[信頼済みサイト] をクリックする

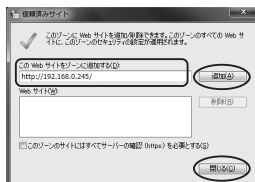
3 [サイト] をクリックする

4 [このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認 (https:) を必要とする] のチェックを外す



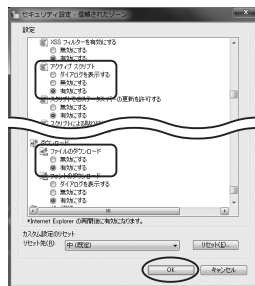
- 5 [この Web サイトをゾーンに追加する] に [http://192.168.0.245/] を入力し、[追加] をクリックして、[閉じる] をクリックする

※本商品の IP アドレスを変更した場合は、設定した IP アドレスを入力してください。



- 6 [レベルのカスタマイズ] をクリックする

- 7 画面をスクロールし、[アクティブスクリプト] と [ファイルのダウンロード] を [有効にする] に変更し、[OK] をクリックする



- 8 [はい] をクリックする

- 9 [適用] をクリックする

- 10 [OK] をクリックする

1

はじめにお読みください

## Mac OSでSafariをご利用の場合

以下は、Mac OS X v10.6でSafari 5.0を使用している場合の例です。

- 1 Safariを起動する
- 2 メニューバーの[Safari] - [環境設定]をクリックする
- 3 [セキュリティ]をクリックする
- 4 [JavaScriptを有効にする]にチェックを入れる
- 5 [クローズボタン]をクリックする





# 2

## 設置・接続



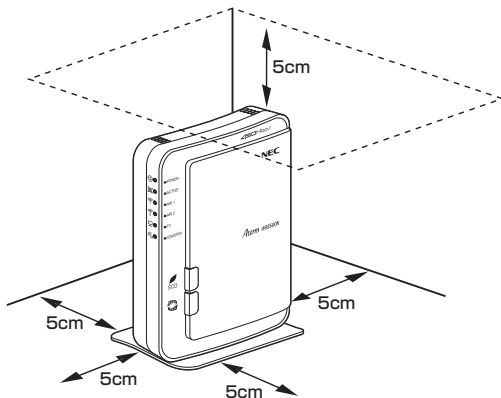
### 2

- 2-1 設置する .....2-2
- 2-2 無線利用したい装置と接続する .....2-7

## 2-1 設置する

本商品は、前後左右5cm、上5cm以内に、パソコンや壁などのものがない場所に設置してください。

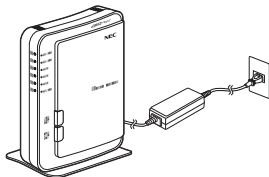
壁掛けの場合は壁掛け面を除きます。



### ⚠ 警告

ACアダプタを接続および設置する際は、以下のことにご注意ください。

- 必ず本商品に添付のものをお使いください。  
また、本商品に添付のACアダプタは他の製品に使用しないでください。
- 風通しの悪い場所に設置しないでください。
- ACアダプタに物をのせたり布を掛けたりしないでください。
- ACアダプタ本体が宙吊りにならないよう設置してください。
- たこ足配線にしないでください。

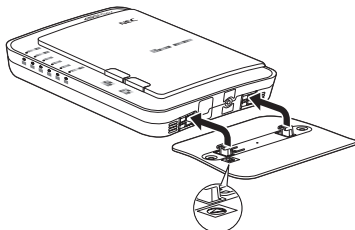


### ⚠ 注意

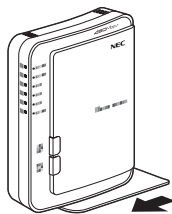
- 狭い場所や壁などに近づけて設置しないでください。内部に熱がこもり、破損したり火災の原因となることがあります。
- 本商品の上に物を置いたり、重ね置きはしないでください。

## 縦置きの場合

- 1 スタンドを本体底面に差し込む  
 スタンドの▲マークが本体前面方向（ランプ側）になるようにして、スタンドの凸部を本体底面のスタンド用取り付け穴に差し込みます。

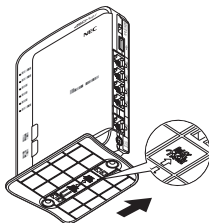


- 2 スタンドを矢印の方向にスライドする  
 「カクッ」という感触があるまでスライドしてください。



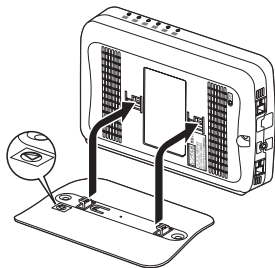
！ スタンドを外す場合は

図のように、スタンドをスタンド裏面の「取外し方向」（本体背面側）へスライドさせて、取り外してください。

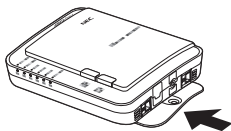


## 横置きの場合

- 1 **スタンドを本体側面に差し込む**  
スタンドの▲マークが本体上面方向になるようにして、スタンドの凸部を本体側面のスタンド用取り付け穴に差し込みます。

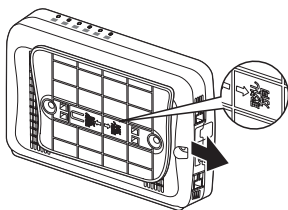


- 2 **スタンドを矢印の方向にスライドする**  
「カクッ」という感触があるまでスライドしてください。



### ！ スタンドを外す場合は

図のように、スタンドをスタンド裏面の「取外し方向」(本体底面側)へスライドさせて、取り外してください。



## 壁掛けの場合

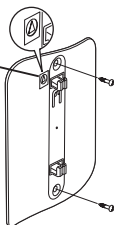


壁掛け用ネジはお客さまでご用意ください。

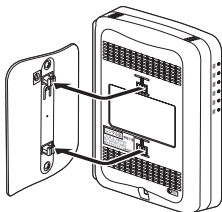


- 1 あらかじめ、添付のスタンドを底面が壁側になるように壁掛け用のネジを取り付ける

▲マークが上になるように壁面へネジ止めしてください。



- 2 スタンドに本体側面を差し込む  
スタンドの凸部に本体側面のスタンド用取り付け穴を差し込みます。



- 3 本商品を矢印の方向にスライドする  
「カクッ」という感触があるまでスライドしてください。



## ❗ 本商品を外す場合は

図のように、本商品を上面側へスライドさせて、取り外してください。



## お願い

- 壁掛け設置されているスタンドから取り外す場合は、本商品の両端を持ち、上側に引き上げて取り外してください。
- 壁掛けの際、装置取り付け時は「カクッ」という感触があるまで確実に押し込んでください。
- 壁掛け時には落下すると危険ですので、大きな衝撃や振動などが加わる場所には設置しないでください。
- 壁掛け設置されている状態で、ケーブルの接続やスイッチの操作などをおこなう際には、落下すると危険ですので必ず本商品本体を手で支えながらおこなってください。
- 本商品が落下すると危険ですので、ベニヤ板などのやわらかい壁への壁掛け設置は避け、確実に固定できる場所に設置してください。また、衝撃や振動を加えないでください。
- 本商品は垂直面以外の壁や天井などには取り付けしないでください。振動などで落下し、故障、けがの原因になります。
- 本商品を落とさないでください。落下によって故障の原因になったり、そのまま使用すると火災・感電の原因になることがあります。万一、本商品を落として破損した場合は、すぐに本商品の AC アダプタをコンセントから抜いて、別途示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご連絡ください。
- 通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

【例】



- 本商品の上に物を置いたり、重ね置きしないでください。

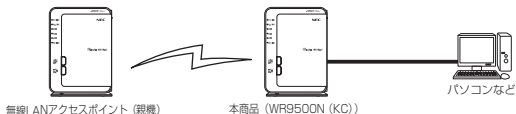


## お知らせ

- 無線で届く範囲は壁や家具、什器など周囲の環境により利用できる範囲は短くなります。
- 無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）は 1m 以上離してお使いください。
- 本商品は、アンテナが内蔵されています。設置位置により十分な通信特性が得られない場合があります。
- 本商品を壁掛けで使用する場合、同じ場所に長期間設置すると、壁紙が変色（色あせ）する場合があります。

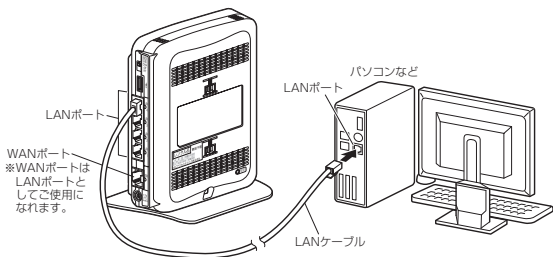
## 2-2 無線利用したい装置と接続する

WR9500N (KC) を STB、パソコンまたはゲーム機などに接続します。



1 パソコンなどの電源を入れておく

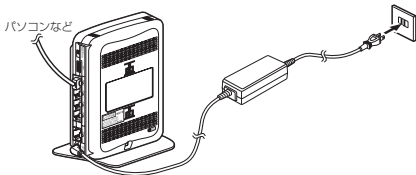
2 WR9500N (KC) の LAN ポートと、パソコンなどの LAN ポートを LAN ケーブルで接続する



3 ACアダプタのプラグを WR9500N (KC) に接続する

※ ACアダプタは必ず本商品に添付のものをお使いください。また、本商品に添付の ACアダプタは他の製品に使用しないでください。

4 ACアダプタを電源コンセントに接続する



(次ページに続く)

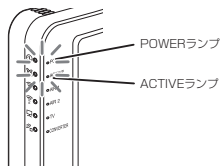
2

設置・接続

5

**WR9500N (KC) のPOWERランプが緑点灯することを確認する**

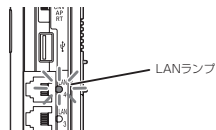
※無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線接続されていると、しばらくして ACTIVE ランプが緑点灯します。3 章の設定が完了するまでは ACTIVE ランプは緑点灯しません。（各部の名前とはたらき ●P1-5）



〈前面〉

6

手順 2 で接続した WR9500N (KC) 背面の LAN ランプが緑点灯することを確認する



〈背面〉

**お知らせ**

- 無線 LAN アクセスポイント（親機）の電源は、あらかじめ入れておいてください。

# 3

## 設定する

### 3

- 3-1 無線設定の手順について .....3-2
- 3-2 らくらく無線スタートで無線設定する ...3-3
- 3-3 パソコンのIPアドレスを確認する .....3-7
- 3-4 WWW ブラウザから無線設定する .....3-8
- 3-5 通信する .....3-14
- 3-6 WR9500N (KC) の設定について  
.....3-15

## 3-1 無線設定の手順について

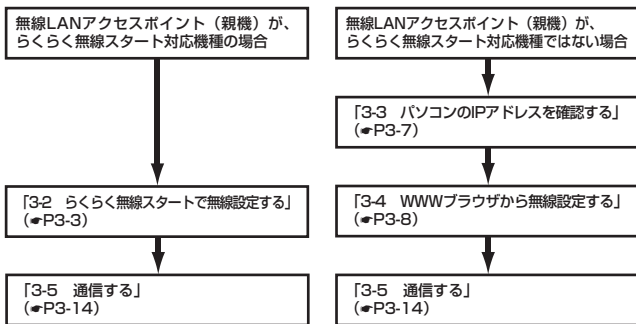
WR9500N (KC) の無線設定は、らくらくスタートボタンを使用して「らくらく無線スタート」でおこなうか、または、パソコンに接続して WWW ブラウザからおこないます。

無線 LAN アクセスポイント（親機）がらくらく無線スタートに対応している場合は「らくらく無線スタート」で設定することができます。

ご利用の無線 LAN アクセスポイント（親機）がらくらく無線スタートに対応しているかどうかは、無線 LAN アクセスポイント（親機）に添付の「つなぎかたガイド」などを参照してください。

無線 LAN アクセスポイント（親機）がらくらく無線スタートに対応していない場合は WWW ブラウザ（クイック設定 Web）で設定します。

なお、WR9500N (KC) を初期化した場合は、無線設定が初期化されますので、ここで再設定をおこなってください。



## 3-2 らくらく無線スタートで無線設定する

ここでは WR9500N (KC) と無線 LAN アクセスポイント (親機) の無線設定をらくらく無線スタートで設定する場合を説明しています。

### ！ らくらく無線スタートで設定をおこなう場合のご注意

- 無線 LAN アクセスポイント (親機) 側に暗号化の設定がされていることが必要です。  
→暗号化設定されていないと、らくらく無線スタートでの設定はできません。(P3-4の手順3の段階で失敗します。)
- 無線 LAN アクセスポイント (親機) 側の「MAC アドレスフィルタリング機能」を使用している場合は、エントリを制限数いっぱいに登録しないようにしてください。  
→無線 LAN アクセスポイント (親機) 側の「MAC アドレスフィルタリング機能」を使用している場合、WR9500N (KC) の MAC アドレスを事前に登録していなくても、らくらく無線スタートでの設定で自動的に登録されますが、制限数いっぱいに登録していると、らくらく無線スタートでの設定はできません。(P3-4の手順3の段階で失敗します。)
- らくらく無線スタートでの設定中は、無線 LAN アクセスポイント (親機) では無線 LAN 通信ができませんので、ご注意ください。らくらく無線スタートでの設定完了後、無線 LAN 通信が可能になります。
- らくらく無線スタートでの設定が失敗した場合は、WR9500N (KC) を初期化してから (●P4-7) 設定し直してください。
- WR9500N (KC) の DHCP サーバ機能が動作中 (●P3-8) は、らくらく無線スタートでの設定はできません。

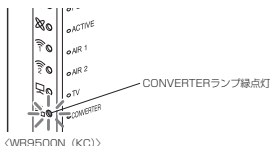
### ！ TV モード機能をご利用になる場合は

WR9500N (KC) のクイック設定 Web を起動し (●P3-15)、「詳細設定」の [5GHz/2.4GHz 優先接続切替] で「5G」を選択してください。

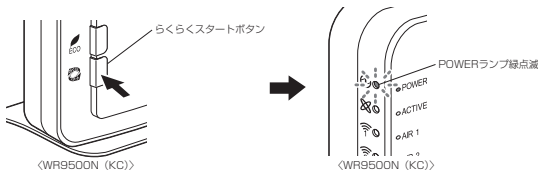
※ 工場出荷時状態では「5G」に設定されています。

## 1 WR9500N (KC) の CONVERTER ランプが緑点灯していることを確認する

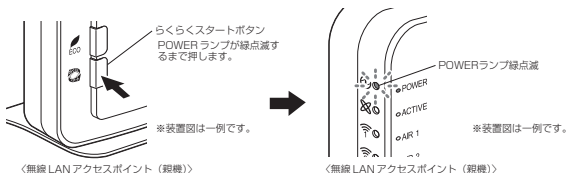
電源を入れた場合や電源を入れた直後の場合は、CONVERTER ランプが点灯するまで 30 秒程度かかります。



## 2 WR9500N (KC) のらくらくスタートボタンを長押しして (約 6 秒)、POWER ランプが緑点滅になったら放す



## 3 無線 LAN アクセスポイント (親機) のらくらくスタートボタンを長押しして (約 6 秒)、POWER ランプが緑点滅になったら放す



※らくらくスタートボタンの位置や形状は、装置によって異なります。無線 LAN アクセスポイント (親機) の取扱説明書などで確認してください。

※POWER ランプは、装置によっては電源ランプと呼ぶ場合があります。

### ❗ POWER ランプが緑点滅せず、約 10 秒間赤点灯した場合

らくらく無線スタートに失敗しています。  
無線 LAN アクセスポイント (親機) 側で、暗号化が設定されていない場合は暗号化を設定し、MAC アドレスフィルタリングのエントリが制限数いっぱいに登録されている場合は、登録を 1 個削除してください。無線 LAN アクセスポイント (親機) 側の設定が済んだら、WR9500N (KC) を初期化 (▶P4-7) し、手順 1 から設定し直してください。

- 4 しばらく待って、無線 LAN アクセスポイント（親機）の POWER ランプと WR9500N（KC）の POWER ランプ両方が橙点滅に変わったことを確認する

**!** どちらか片方しか上記の状態になっていない場合

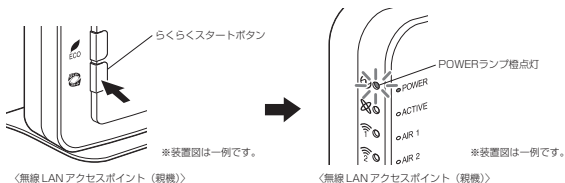
他の無線 LAN アクセスポイント（親機）または無線 LAN 端末（子機）と設定をおこなおうとしている場合があります。

しばらくして無線 LAN アクセスポイント（親機）と WR9500N（KC）の POWER ランプが緑点灯することを確認したあと、WR9500N（KC）を初期化（●P4-7）し、手順 1 から設定し直してください。

- 5 もう一度無線 LAN アクセスポイント（親機）のらくらくスタートボタンを長押しして（約 6 秒）、無線 LAN アクセスポイント（親機）と WR9500N（KC）の POWER ランプ両方が橙点灯になったら放す

POWER ランプが、橙点灯（約 10 秒）すれば設定完了です。

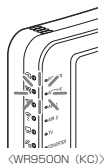
もし、赤点灯した場合は、設定に失敗しています。WR9500N（KC）を初期化（●P4-7）し、手順 1 から設定し直してください。



※ POWER ランプは約 10 秒間橙点灯したあと、緑点灯に戻ります。

- 6 WR9500N（KC）の ACTIVE ランプが緑点灯することを確認する

無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線通信が確立すると、AIR1 ランプまたは AIR2 ランプで電波状態が確認できます。（●P1-5、1-6）



---

## お願い

- WR9500N (KC) をらくらく無線スタートで設定後、ACTIVE ランプが緑点灯しているにもかかわらず、WR9500N (KC) に接続したパソコンからインターネットに接続できない場合は、次の手順で LAN ケーブルを接続し直してください。
  - ① WR9500N (KC) とパソコンを接続している LAN ケーブルを取り外す
  - ② WR9500N (KC) の電源を切る
  - ③ WR9500N (KC) とパソコンを LAN ケーブルで接続する
  - ④ WR9500N (KC) の電源を入れる
  - ⑤ ACTIVE ランプが緑点灯することを確認する



## お知らせ

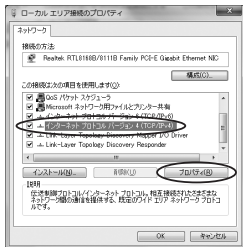
- 無線 LAN アクセスポイント (親機) 側で「ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽)」を「有効」に設定している場合でも、らくらく無線スタートでの設定をすることができます。

## 3-3 パソコンのIPアドレスを確認する

WR9500N (KC) をLANポートに接続したパソコンから設定する際には、「IPアドレスを自動的に取得する」に設定します。WR9500N (KC) 設定後は、使用するネットワーク体系にあわせてIPアドレス/ネットマスクの設定をおこなってください。

### Windows® 7/Windows Vista® の場合

- 1 [スタート] (Windows® のロゴボタン) - [コントロールパネル] を選択する
- 2 [ネットワークとインターネット] - [ネットワークと共有センター] をクリックし、[アダプターの設定の変更] をクリックする  
※Windows Vista® の場合は、[ネットワークとインターネット] - [ネットワークと共有センター] をクリックし、[タスク] 欄の [ネットワーク接続の管理] をクリックします。
- 3 [ローカルエリア接続] を右クリックし、[プロパティ] をクリックする
- 4 [ユーザーアカウント制御] 画面が表示された場合は、[はい] または [続行] をクリックする
- 5 [インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)] を選択し、[プロパティ] をクリックする



(画面はWindows® 7の例です。)

- 6 [IPアドレスを自動的に取得する] と [DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する] を選択する
- 7 [OK] をクリックする
- 8 [閉じる] または [OK] をクリックする

### お知らせ

- Windows® 7/Windows Vista® の設定により表示内容が異なる場合があります。
- ここでは、Windows® 7の通常表示モード (カテゴリ表示)、Windows Vista® の通常表示モード (コントロールパネルホーム) を前提に記述しています。

## 3-4 WWW ブラウザから無線設定する

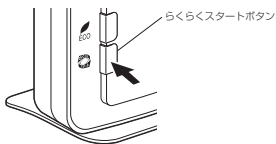
### WWW ブラウザで設定する

ここでは、WR9500N (KC) のクイック設定 Web で WR9500N (KC) のみの無線設定をおこなう場合の設定方法を説明しています。

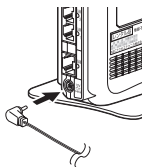
#### ■ WR9500N (KC) の DHCP サーバ機能を起動する

- 1 WR9500N (KC) から AC アダプタのプラグをいったん外し、約 10 秒待つ
- 2 WR9500N (KC) のらくらくスタートボタンを押しながら、AC アダプタのプラグを接続し、CONVERTER ランプが緑点滅したら、らくらくスタートボタンを放す

無線 LAN アクセスポイント（親機）との無線接続はいったん切断されます。WR9500N (KC) の DHCP サーバが起動します。



<WR9500N (KC)>



<WR9500N (KC)>

**■ WWW ブラウザで設定する**

WWW ブラウザで無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信ができるようにするための設定をおこないます。

## 1 パソコンなどを起動する

## 2 WWW ブラウザを起動し、WR9500N (KC) の IP アドレスを入力し、設定画面を開く（工場出荷時は 192.168.0.245 です）

例：http://192.168.0.245/

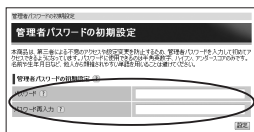
WWW ブラウザの設定画面が表示されない（☛P4-4）

3 管理者パスワードの初期設定をおこなう  
画面にしたがって任意の文字列を入力してください。

一度設定すると、次回からは、この画面は出なくなります。

●管理者パスワードは、WR9500N (KC) を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。

忘れた場合は設定画面を開くことができず、初期化してすべての設定を最初からやり直しになります。



管理者パスワードメモ欄	
-------------	--

## 4 [設定] をクリックする

## 5 「ユーザー名」（上段）に「admin」を、「パスワード」（下段）に手順3で控えた管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックする

ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

クイック設定 Web が表示されます。

## 6 「基本設定」を選択する

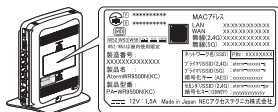


（次ページに続く）

## 7 [ネットワーク名 (SSID)]に無線ネットワーク内で使用するネットワーク名 (SSID) を入力する

使用する無線 LAN アクセスポイント (親機) のネットワーク名 (SSID) を確認しておいてください。

※ 無線 LAN アクセスポイント (親機) として Aterm シリーズを使う場合、工場出荷時のネットワーク名 (SSID) は、無線 LAN アクセスポイント (親機) の側面または底面のラベルに記載されています。ただし、どちらにも記載がない場合は、「WARPSTAR-XXXXXX」(XXXXXX は無線 LAN アクセスポイント (親機) の側面に記載されている MAC アドレスの下 6 桁) です。



＜無線 LAN アクセスポイント (親機)＞



＜無線 LAN アクセスポイント (親機)＞



※ 装置図およびラベルは一例です。



[アクセスポイント検索] をクリックして [アクセスポイント検索] 画面を表示してネットワーク名 (SSID) を選択することもできます。

- ① [アクセスポイント検索] 画面で接続するネットワーク名 (SSID) を選択する
- ② [選択] をクリックする



## 無線LANアクセスポイント（親機）の暗号化設定に合わせて暗号化の設定をおこなう



暗号化されていない無線LANアクセスポイント（親機）は、暗号化の設定をおこなうことをお勧めします。

- 無線LANアクセスポイント（親機）にパソコンを接続し、無線LANアクセスポイント（親機）の取扱説明書などを参照して、暗号化を設定したあとに、P3-8から設定してください。
- 無線LANアクセスポイント（親機）の暗号化設定が不明の場合や忘れてしまった場合は、無線LANアクセスポイント（親機）にパソコンを直接接続し、無線LANアクセスポイント（親機）の取扱説明書などを参照して、設定を確認してください。
- 無線LANアクセスポイント（親機）に暗号化設定をしない場合は、[暗号化モード] で [暗号化無効] を選択し、手順9にお進みください。

### ■無線LANアクセスポイント（親機）の暗号化モードがTKIPまたはAESの場合

- ① [暗号化モード] で使用する暗号化モードを選択する

※IEEE802.11nでは、[WPA-PSK (TKIP)]、[WPA2-PSK (TKIP)] は使用できません。

- ② [指定方法] を選択し、[暗号化キー] を入力する

暗号化キーは半角で、8～63桁の英数記号、または、64桁の16進数で入力します。

※暗号化キーに使用できる文字は次の通りです。

#### [8～63桁の場合]

英数記号 (0～9、a～z、A～Z、下記の記号)

!	%	)	-	:	?	]
"	&	*	.	<	@	^
#	'	+	/	=	[	_
\$	(	,	:	>	\	` -

※「?」は、無線LANアクセスポイント（親機）によっては使用できない場合があります。（無線LANアクセスポイント（親機）がWR9500Nの場合は、使用できません。）

※「\」（バックスラッシュ）はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

#### [64桁の場合]

16進数 (0～9、a～f、A～F)



## ■無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化モードが WEP の場合

- ① [暗号化モード] で [WEP] を選択する  
※ IEEE802.11n では、WEP はご利用になりません。
- ② 暗号強度を [64bit] [128bit] [152bit] から選択し、指定方法を選択する  
[64bit] (弱) < [128bit] < [152bit] (強) の順で強い暗号がかかります。
- ③ [指定方法] で [英数記号] または [16進] を選択する  
※ 指定した暗号強度によりそれぞれの入力桁数は異なります。
- ④ [使用する暗号化キー番号] を 1 番～4 番で選択する
- ⑤ [暗号化キー] は③で指定した方法で入力する

※ 暗号化キーに使用できる文字は次のとおりです。

- ・ [英数記号] → 0～9、a～z、A～Z、下記の記号

(ただし、無線 LAN アクセスポイント（親機）によっては、下記の記号は使用できません。無線 LAN アクセスポイント（親機）が WR9500N の場合は下記の記号は使用できません。)

!	%	)	-	:	?	]	{
"	&	*	.	<	@	^	
#	'	+	/	=	[	_	
\$	(	,	:	>	\	`	~

※ 「？」は、無線 LAN アクセスポイント（親機）によっては使用できない場合があります。

※ 「\」（バックスラッシュ）はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

- ・ [16進] → 16進数 (0～9、a～f、A～F)



### 暗号化キーの入力例：

[128bit]の場合(英数記号/13桁)  
0123456789abc

9 [設定] をクリックする

10 [OK] をクリックする

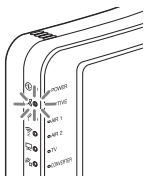
11 [保存] をクリックする

12 [メンテナンス] - [再起動] を選択する

13 [再起動] をクリックする (●P3-23)

14 [OK] をクリックする

15 WR9500N (KC) の ACTIVE ランプが緑点灯することを確認する  
無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線通信が確立すると、AIR1 ランプまたは AIR2 ランプで電波状態が確認できます。



**!** 重要

パソコンの IP アドレスを変更した場合は、WR9500N (KC) の設定を終了したあとは、パソコンの IP アドレスをお使いのネットワーク環境（ルータなど）に合わせて設定してください。

## 3-5 通信する

設定が完了したら実際にインターネットに接続するなどして、WR9500N (KC) に接続したパソコンから無線 LAN アクセスポイント (親機) へ通信ができることを確認してください。



### 1 WWW ブラウザを起動する

### 2 外部のホームページを開く

(例) <http://www.aterm.jp/kddi/9500kc/index.html>

### ! 無線 LAN アクセスポイント (親機) で MAC アドレスによる接続制限をおこなう場合

無線 LAN アクセスポイント (親機) で MAC アドレスによる接続制限 (MAC アドレスフィルタリング) をおこなう場合、WR9500N (KC) の無線クライアントモードによって次のように設定してください。なお、登録する MAC アドレスは、ご利用の無線モード (2.4GHz/5GHz) によらず、WR9500N (KC) 側面ラベルの「無線 (2.4G)」のものを無線 LAN アクセスポイント (親機) に登録してください。

<WR9500N (KC) の無線クライアントモードが標準モードまたは拡張モードの場合>

WR9500N (KC) の側面に記載されている無線の MAC アドレスを無線 LAN アクセスポイント (親機) 側に登録することで、無線接続する他の無線 LAN 端末 (子機) を制限できます。

<WR9500N (KC) の無線クライアントモードが MAC クローンモードの場合>

WR9500N (KC) の側面に記載されている無線の MAC アドレスと、WR9500N (KC) に接続しているパソコンなどの端末の MAC アドレスをすべて無線 LAN アクセスポイント (親機) 側に登録してください。

→WR9500N (KC) では、接続されている複数の端末のうち、最初にアクセスのあった端末の MAC アドレスを記憶し、他の端末からのアクセス時は MAC アドレスを最初の端末のものに変換します。

このため、無線 LAN アクセスポイント (親機) の MAC アドレスフィルタに未登録の端末が最初にアクセスすると、WR9500N (KC) の ACTIVE ランプが消灯し、WR9500N (KC) に接続しているすべての端末が無線接続できなくなります。(WR9500N (KC) の電源を入れたときに MAC アドレスを登録された端末が接続されていない場合も、無線接続できなくなります。)

なお、既に ACTIVE ランプが緑点灯している WR9500N (KC) に、MAC アドレスが未登録の端末を接続した場合は通信が可能です。

## 3-6 WR9500N (KC) の設定について

WWW ブラウザでクイック設定 Web を起動し、WR9500N (KC) の設定を変更することができます。

※お使いの WWW ブラウザによっては表示される画面が異なる場合があります。

### WWW ブラウザでの設定変更について

#### ■ 起動のしかた

クイック設定 Web で設定を変更する場合は、次の方法で起動します。

#### 1 パソコンなどを起動する

#### 2 WWW ブラウザを起動し、WR9500N (KC) の IP アドレスを入力し、設定画面を開く (工場出荷時は 192.168.0.245 です)

例：http://192.168.0.245/

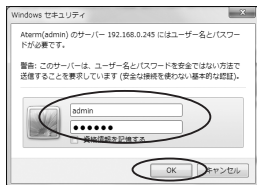
IP アドレスを変更した場合は、変更したアドレスを入力します。

WWW ブラウザの設定画面が表示されない (●P4-4)

#### 3 「ユーザー名」(上段)には「admin」を、「パスワード」(下段)に P3-9 で設定したパスワードを入力し、[OK] をクリックする

(ユーザー名は、半角小文字で入力してください。)

クイック設定 Web が表示されます。



(画面は Windows® 7 の場合の例です。)

3

設定する



#### お知らせ

- ACTIVE ランプが橙点滅している場合、IP アドレスが他の機器と競合しています。「トラブルシューティング」の「症状：ACTIVE ランプが橙点滅している」(●P4-3) を参照して、IP アドレスの競合を解消してください。

## ■ 設定項目について

ここではそれぞれの項目で何が設定できるのかを説明しています。  
設定の変更が必要な場合は、それぞれの画面で設定をおこなってください。

### ! 設定の登録のしかた

それぞれのページで [設定] をクリックしたあと、[保存] をクリックすることにより設定内容を本商品に書き込みます。

※設定登録後は、[メンテナンス] - [再起動] で本商品を再起動してください。  
DHCP サーバ機能を停止します。

## 【基本設定】

ネットワーク名 (SSID) や、暗号化を設定します。  
詳細については、P3-10、3-11 を参照してください。

## 【詳細設定】



### < IPアドレス/ネットマスク >

IPアドレス自動補正：本商品が属するネットワークアドレスを検出し、適切なIPアドレスを自動生成します。(初期値：使用する)

IPアドレス/ネット：本商品のIPアドレスとネットマスクを手動で設定する場合には、入力します。「IPアドレス自動補正機能」のチェックを外した場合に入力できます。(初期値：192.168.0.245/24)

### < ゲートウェイ >

固定アドレス：本商品が使用するゲートウェイアドレスを固定で設定する場合には入力します。「IPアドレス自動補正機能」のチェックを外した場合に入力できます。

### < ネームサーバ >

プライマリ DNS：本商品が使用するDNSサーバを手動で設定する場合には入力します。「IPアドレス自動補正機能」のチェックを外した場合に入力できます。

セカンダリ DNS：複数のDNSサーバがある場合は「プライマリDNS」とともに「セカンダリDNS」も入力します。



## 【メンテナンス】－【設定値の保存&復元】

現在の本商品の設定内容をファイルに保存および復元をすることができます。  
設定内容をパソコンのハードディスクにバックアップファイルとして保存しておく  
と、設定内容を復元することが可能です。



### お知らせ

- 設定値の保存と復元は同じ動作モードでおこなってください。



#### <設定値の保存>

設定値を保存します。

Windows® で Internet Explorer をご利用の場合

- 1 【ファイルへ保存】をクリックする
- 2 ファイル保存用の通知バーまたはダイアログで、必要に応じて保存先などを指定し、保存する
- 3 ダウンロード完了の通知バーまたはダイアログが表示されたら、閉じる  
※ 【ファイルへ保存】を右クリックし、「対象をファイルに保存」をクリックして保存することもできます。

Mac OS で Safari をご利用の場合

- 1 【ファイルへ保存】をクリックする
- 2 ダウンロード完了のダイアログが表示されたら、閉じる  
※ 【ファイルへ保存】を Control キーを押したままクリックし、「リンク先のファイルを別名でダウンロード」をクリックして保存することもできます。



## 【メンテナンス】－【ファームウェア更新】

本商品のファームウェアを更新（バージョンアップ）します。



ファームウェアを更新する場合は、以下のいずれかの方法でおこなってください。

- ・「ローカルファイル指定」で更新する
- ・「自動更新（オンラインバージョンアップ）」で更新する

「ローカルファイル指定」で更新する

- 1 最新のファームウェアをサポートページからダウンロードする  
※ファームウェアをダウンロードしたあと、解凍してご利用ください。
- 2 「更新方法」で「ローカルファイル指定」を選択する
- 3 「ファームウェアファイル」欄にあるボタン（[参照] など）をクリックする
- 4 手順1でダウンロードしたファームウェアのファイルを指定する
- 5 [更新] をクリックする

## 6 [OK] をクリックする



しばらくすると、画面に「ファームウェア更新中のため、絶対に本商品の電源を OFF にしないでください。」と表示されます。

バージョンアップ中は、本商品の電源を切らないでください。

## 7 [OK] をクリックする



「自動更新（オンラインバージョンアップ）」で更新する

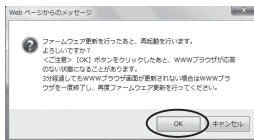
1 「更新方法」で「自動更新（オンラインバージョンアップ）」を選択する

2 「更新」をクリックする

3 下の画面が表示されたら、「最新バージョンへ更新」をクリックする  
※「最新のファームウェアバージョン」が、「現在のファームウェアバージョン」よりも新しい場合には、更新してください。



4 「OK」をクリックする



しばらくすると、画面に「ファームウェア更新中のため、絶対に本商品の電源を OFF にしないでください。」と表示されます。  
バージョンアップ中は、本商品の電源を切らないでください。

5 「OK」をクリックする



## 【メンテナンス】－【再起動】

本商品の再起動をおこないます。



再起動をおこなう場合は、[再起動] をクリックしてください。  
設定を変更した場合は、再起動をおこなう前に設定を保存しないと設定内容が失われます。

## 【情報】 - 【現在の状態】

本商品の装置情報や設定内容を表示します。



### <装置情報>

- 装置名 : 装置名が表示されます。
- ファームウェアバージョン : 本商品のファームウェアのバージョンを表示します。
- MACアドレス (無線) : 無線側のMACアドレスを表示します。
- MACアドレス (有線) : 有線側のMACアドレスを表示します。

### <無線LAN通信状態>

- 通信状態 : 無線の通信状態を表示します。
- ネットワーク名 (SSID) : 無線LANのネットワーク名 (SSID) を表示します。
- 無線動作モード : 使用している無線動作モードを表示します。
- 使用チャンネル : 接続している無線のチャンネルを表示します。
- 無線クライアントモード : 使用している無線クライアントモードを表示します。
- 受信レベル : 無線電波の受信強度を表示します。
- リンクアップ速度 : リンクアップ速度を表示します。
- 暗号化 : 使用している暗号化モードを表示します。

### <ネットワーク情報>

- IPアドレス/ネットマスク : 本商品のIPアドレスとネットマスクを表示します。
- ゲートウェイ : 本商品が使用するゲートウェイマスクを表示します。
- プライマリDNS : 本商品が使用するプライマリDNSを表示します。
- セカンダリDNS : 本商品が使用するセカンダリDNSを表示します。

### 【最新状態に更新】

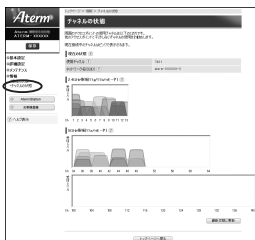
表示を最新状態にしたいときにクリックします。

### 【チャンネルの状態】

クリックするとチャンネルの状態画面が表示されます。

## 【情報】 - [チャンネルの状態]

周囲の無線 LAN アクセスポイント（親機）のチャンネル状態を表示します。



## お願い

MACアドレスを必要とするゲームアプリケーションをご利用の場合で、かつ、複数台の機器を接続する場合は、以下の手順で接続してください。

なお、接続する無線LANアクセスポイント（親機）が拡張クライアントモードに対応している場合は、この手順での接続は不要です。

- ①無線LANアクセスポイント（親機）とWR9500N（KC）の無線接続を確立する
- ②WR9500N（KC）の無線クライアントモードを「MACクローンモード」に設定する（☛P3-17）
- ③ゲーム機1台のみをWR9500N（KC）のLANポートに接続する（接続はどのポートでもかまいません。）
- ④WR9500N（KC）の電源を入れ直す
- ⑤ゲームアプリケーションを起動する

この手順後は、空いているLANポートにパソコンやゲーム機を接続することができます。



## お知らせ

●無線LANアクセスポイント（親機）側の「MACアドレスフィルタリング機能」を使用している場合に、WR9500N（KC）の無線クライアントモード（初期値：「拡張モード」）を「MACクローンモード」にして利用するには、下記の手順で設定してください。

- ①らくらく無線スタートでの設定をおこなう。（☛P3-3）
- ②無線LANアクセスポイント（親機）側の「MACアドレスフィルタリング」の設定で、WR9500N（KC）に接続するすべてのパソコンやゲーム機などのMACアドレスを登録する。
- ③無線LANアクセスポイント（親機）側の「MACアドレスフィルタリング機能」を「使用する」に設定する。
- ④WR9500N（KC）の無線クライアントモードを「MACクローンモード」に変更する。（☛P3-17）



# 4

## お困りのときは



### 4

- 4-1    トラブルシューティング .....4-2
- 4-2    初期化する .....4-7

## 4-1 トラブルシューティング

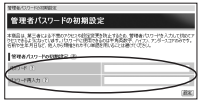
トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずこちらをご覧ください。該当項目がない場合や、対処をしても問題が解決しない場合は、WR9500N (KC) を初期化し(●P4-7)、はじめから設定し直してみてください。初期化をおこなうとWR9500N (KC) のすべての設定が初期値(●P4-9)に戻りますのでご注意ください。

### 設置に関するトラブル

症 状	原因と対策
電源を入れたとき POWER ランプが点灯しない	電源が入っていません。 ● ACアダプタが外れている →ACアダプタを電源コンセントに差し込んでください。 ● ACアダプタがパソコンの電源に連動したコンセントに差し込まれている →電源はパソコンの電源などに連動したコンセントではなく、壁などの電源コンセントに直接接続してください。パソコンの電源が切れるとWR9500N (KC) に供給されている電源も切れてしまいます。 ● ACアダプタが破損していないか確認してください。破損している場合はすぐにACアダプタをコンセントから外して別途示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご相談ください。
ACTIVE ランプが点灯しない	● 無線 LAN アクセスポイント (親機) と WR9500N (KC) との間の無線状態が悪い場合があります。無線 LAN アクセスポイント (親機) と WR9500N (KC) を近づけてみてください。また、無線 LAN アクセスポイント (親機) と WR9500N (KC) が近すぎても通信できない場合があります。この場合は 1m 以上離してご使用ください。 ● 接続してある機器の電源は入れたままで WR9500N (KC) の電源を入れ直してください。 ● 設定に誤りがある場合があります。 ※ どうしても動作しない場合は、初期化して最初から設定し直してください。(●P4-7)

症 状	原因と対策
ACTIVE ランプが橙点減している	<p>● WR9500N (KC) の IP アドレスが他の機器と競合しています。その場合は、下記の対処をおこなってください。</p> <p>① WR9500N (KC) が接続しているネットワークの下記アドレスを確認して、控えておく (確認方法は P4-5 参照)</p> <div data-bbox="398 298 916 385" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>控え欄</p> <p>IP アドレス :            デフォルトゲートウェイ (またはルーター) :            DNS サーバ (または DNS) :</p> </div> <p>② WR9500N (KC) を RESET スイッチで初期化する (●P4-8)</p> <p>③ WR9500N (KC) の DHCP サーバ機能を利用してクイック設定 Web を起動し (●P3-15)、[詳細設定] 画面で下記のように設定する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [IP アドレス自動補正機能] : 使用しない</li> <li>・ [IP アドレス] : ①で確認した「IP アドレス」のアドレス体系を使用し、末尾を「245」以外の値に変更して入力。            例 : 「IP アドレス」のアドレス体系が「192.168.0.3」の場合            → 「192.168.0.XXX」と入力する。(XXX は「245」以外の任意の値)</li> <li>・ [ネットマスク (ビット指定)] : 24</li> <li>・ [ゲートウェイ] : ①で確認した「デフォルトゲートウェイ (または「ルーター」) のアドレスを入力する。</li> <li>・ [ネームサーバ] : [プライマリ DNS] に①で確認した「DNS サーバ」(または「DNS」) のアドレスを入力する。</li> </ul> <p>&lt;ご注意&gt;            設定終了後は、必ずクイック設定 Web の [メンテナンス] - [再起動] にて WR9500N (KC) を再起動してください。(再起動すると、DHCP サーバ機能が終了します。)</p> <p>④ 無線 LAN の設定をする (●P3-3)</p>

症 状	原因と対策
<p>WWW ブラウザの設定画面が表示されない</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●パソコンと WR9500N (KC) のネットワークのアドレス体系が異なっている可能性があります。パソコンのネットワークの設定が「IPアドレスを自動的に取得する」になっていることを確認してください。(●P3-7)</li> <li>●WR9500N (KC) が無線 LAN アクセスポイント (親機) に接続済みであれば、下記の手順でもクイック設定 Web を起動することができます。             <ol style="list-style-type: none"> <li>①DHCP サーバ機能を起動している場合は、いったん WR9500N (KC) の電源を切って入れ直してください。</li> <li>②WR9500N (KC) が接続しているネットワークのアドレス体系を確認して (●P4-5) 控えておく</li> </ol> <div data-bbox="401 448 919 512" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>控え欄</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> <li>③WWW ブラウザを起動する</li> <li>④アドレス欄に「http://X.Y.Z.245/」を入力して、クイック設定 Web のページを開く             <ul style="list-style-type: none"> <li>※「X.Y.Z」は②で確認したネットワークのアドレス体系です。 例：②で確認したアドレスが「192.168.0.3」の場合 →「http://192.168.0.245」と入力する</li> <li>※ P4-3 で IP アドレスの競合により WR9500N (KC) の IP アドレスの末尾を「245」以外に設定している場合は、設定したアドレスを入力してください。</li> </ul> </li> <li>⑤次の画面が表示された場合は、画面にしたがって管理者パスワード (任意の文字列) を決めて、下の控え欄に記入する             <ul style="list-style-type: none"> <li>※ この画面は管理者パスワードが未設定の場合に表示されます。</li> <li>※ 管理者パスワードは、本商品を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。忘れた場合は、設定画面を開くことができず、本商品を初期化してすべての設定がやり直しになります。</li> </ul> <div data-bbox="422 963 919 1016" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>管理者パスワード控え欄</p> </div> </li> <li>⑥⑤で控えた管理者パスワードを画面に入力し、[設定] をクリックする</li> <li>⑦ユーザー名とパスワードを入力し、[OK] をクリックする             <ul style="list-style-type: none"> <li>※「ユーザー名」(上段) には「admin」と半角小文字で入力し、「パスワード」(下段) には⑤で控えた管理者パスワードを入力してください。</li> </ul> </li> <li>⑧クイック設定 Web が表示される</li> </ol> </li> </ul>
<p>WR9500N (KC) が正常に動作しないが、原因がわからない</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●設定に誤りがある場合があります。</li> <li>※どうしても動作しない場合は、初期化して最初から設定し直してください。(●P4-7)</li> </ul>



(画面は Windows<sup>®</sup> 7 の場合の例です。)



## Mac OS X の場合

- 1 アップルメニューの [システム環境設定] を開き、[ネットワーク] アイコンを選択する
- 2 [Ethernet] を選択する  
※本商品に無線で接続している場合は [AirMac] を選択して [詳細] をクリックし、[TCP/IP] タブをクリックします。
- 3 表示された IP アドレス（または IPv4 アドレス）を確認する（画面例では、「192.168.0.3」）

控え欄



画面は、Mac OS X v10.6 を例にしています。上記 OS 以外をご利用の場合は、ご利用の OS マニュアルをご覧ください。

## 4-2 初期化する

WR9500N (KC) に設定した内容を消去して初期値にします。WR9500N (KC) がうまく動作しない場合や今までとは異なった使い方をする場合は、WR9500N (KC) を初期化してはじめてから設定し直すことをお勧めします。

- クイック設定 Web で初期化する (☛ 下記)
- RESET スイッチで初期化する (☛ P4-8)

### クイック設定 Web で初期化する

1 クイック設定 Web を起動する (☛ P3-15)

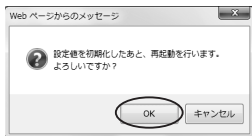
2 「メンテナンス」 - 「設定値の初期化」 を選択する

3 「設定値の初期化」 をクリックする

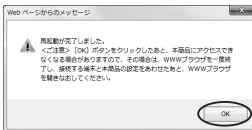


4 [OK] をクリックする

本商品が再起動します。



5 [OK] をクリックする



4

お困りのときは

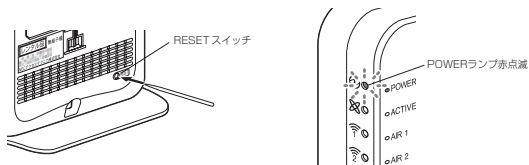
## RESET スイッチで初期化する

### 1 WR9500N (KC) の CONVERTER ランプが緑点灯していることを確認する

電源を入れ直した場合や電源を入れた直後の場合は、CONVERTER ランプが点灯するまで 30 秒程度かかります。

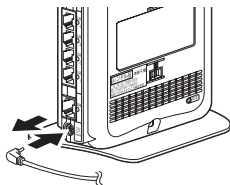
### 2 RESET スイッチを細い棒状のもの（電気を通さない材質のもの、つまようじの先など）で押し続け、POWER ランプが赤点滅をはじめたら放す

POWER ランプが赤点滅するまで約 6 秒～ 10 秒かかります。



### 3 WR9500N (KC) から AC アダプタのプラグをいったん取り外したあと、10 秒ほど待ってから再び差し込み、1 分ほど待つと、初期化が完了する

※WR9500N (KC) の前面ランプが一斉に緑点滅したあと、POWER ランプが緑点灯したら初期化が完了します。



## ■ WR9500N (KC) の初期値

WR9500N (KC) を初期化すると、次のような設定になります。

設定項目		初期値
無線 LAN 設定	ネットワーク名 (SSID)	未設定
	暗号化モード	暗号化無効
	暗号化キー	未設定
	無線クライアントモード	拡張モード
	送信出力	100%
ネットワーク 設定	IP アドレス	192.168.0.245
	ネットマスク	255.255.255.0
管理者設定	管理者名	admin
	管理者パスワード	未設定





# 5

## 付録

5-1	製品仕様	5-2
-----	------	-----

# 5-1 製品仕様

## ■ WR9500N (KC) 仕様

項目		諸元および機能	備考
LAN インタ フェース	物理 インタフェース	8ピンモジュラージャック (RJ-45) × 4ポート	スイッチングHUB × 4ポート
	インタフェース	1000BASE-T/100BASE-TX/ 10BASE-Te * 1	Auto MDI/MDI-X対応
	伝送速度	1000Mbps/100Mbps/10Mbps * 1	
	全二重/半二重	全二重/半二重	
WAN インタ フェース <small>※WANポート はLANポート としてご利用 にれます。</small>	物理 インタフェース	8ピンモジュラージャック (RJ-45) × 1ポート	
	インタフェース	WANポート 1000BASE-T/100BASE-TX/ 10BASE-Te * 1	Auto MDI/MDI-X 対応
	伝送速度	1000Mbps/100Mbps/10Mbps * 1	
	全二重/半二重	全二重/半二重	
無線 LAN インタ フェース	IEEE802.11n	周波数帯域/ チャンネル	2.4GHz帯 (2,400-2,484MHz) / 1 ~ 13ch
			[W52] 5.2GHz帯 (5,150-5,250MHz) : 36/40/44/48ch ※屋内限定
			[W53] 5.3GHz帯 (5,250-5,350MHz) : 52/56/60/64ch ※屋内限定
			[W56] 5.6GHz帯 (5,470-5,725MHz) : 100/104/108/112/116/120/124/128/ 132/136/140ch
	伝送方式	OFDM (直交周波数分割多重) 方式/ 搬送波数 [HT20] 56、[HT40] 114 MIMO (空間多重) 方式	
	伝送速度 * 2	2.4GHz帯 最大300Mbps (HT40の場合) * 3 5.2GHz帯 (W52) 5.3GHz帯 (W53) 5.6GHz帯 (W56) 最大450Mbps (HT40の場合) * 3 (自動フォールバック)	
	IEEE802.11a	周波数帯域/ チャンネル	[W52] 5.2GHz帯 (5,150-5,250MHz) : 36/40/44/48ch ※屋内限定
			[W53] 5.3GHz帯 (5,250-5,350MHz) : 52/56/60/64ch ※屋内限定
			[W56] 5.6GHz帯 (5,470-5,725MHz) : 100/104/108/112/116/120/124/128/ 132/136/140ch
		伝送方式	OFDM (直交周波数分割多重) 方式/ 搬送波数 52
伝送速度 * 2	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps (自動フォールバック)		

項目		諸元および機能		備考
無線 LAN インタ フェース	IEEE802.11b	周波数帯域/ チャンネル	2.4GHz帯 (2,400-2,484MHz) / 1 ~ 13ch	
		伝送方式	DS-SS (スペクトラム直接拡散) 方式	
		伝送速度 *2	11/5.5/2/1Mbps (自動フォールバック)	
	IEEE802.11g	周波数帯域/ チャンネル	2.4GHz帯 (2,400-2,484MHz) / 1 ~ 13ch	
		伝送方式	OFDM (直交周波数分割多重) 方式/ 搬送波数 52	
		伝送速度 *2	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps (自動フォールバック)	
アンテナ	2.4GHz : 送信 2 × 受信 2 5GHz : 送信 3 × 受信 3 (内蔵アンテナ)			
セキュリティ	SSID、MAC アドレスフィルタリング、ネットワーク分離機能、 WEP (152/128/64bit)、WPA-PSK (TKIP、AES)、 WPA2-PSK (TKIP、AES) ※IEEE802.11n では WPA-PSK (AES)、WPA2-PSK (AES) のみの対応			
ヒューマン インタ フェース	状態 表示 ランプ	POWER	電源通電時点灯	
		ACTIVE	無線 LAN 端末 (子機) (CONVERTER) モード時無線接続状 態表示	
		AIR1	2.4GHz モード無線通信状態表示	
		AIR2	5GHz モード無線通信状態表示	
		TV	TV モード通信状態表示	
		CONVERTER	無線 LAN 端末 (子機) 状態表示	
		LAN1 ~ 4	リンク確立状態表示	
	WAN	リンク確立状態表示		
スイッチ	ECO ボタン × 1 らくらくスタートボタン × 1 RESET スイッチ × 1			
動作保証環境	温度 0 ~ 40℃ 湿度 10 ~ 90%		結露しないこと	
外形寸法	約 35 (W) × 111 (D) × 152 (H) mm		突起部除く	
電源	AC100V ± 10% 50/60Hz		AC アダプタ使用	
消費電力	17W (最大)			
質量 (本体のみ)	約 0.3kg		AC アダプタを除く	
VCCI	VCCI クラス B			

- \* 1 : 本商品を快適にご利用いただくには、1000BASE-T、1000Mbps もしくは 100BASE-TX、100Mbps の方式での接続を推奨します。
- \* 2 : 規格による理論上の速度であり、ご利用環境や接続機器などにより実際のデータ通信速度は異なります。
- \* 3 : ご利用環境によっては、HT40/HT20 モードが自動で切り替わるため、デュアルチャネルを「使用する」に設定しても、HT20 で接続される場合があります。
- ※ WR9500N (KC) ではアドホック通信をご利用になれません。

# MEMO

# MEMO

# MEMO

## ● 電波障害自主規制について

この装置は、クラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

## ● 輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社はいっさい責任を負いません。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポートなどは行っていません。

## ● ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載・無断複写することは禁止されています。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り・記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 本商品の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電などの外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- (5) セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線LANの仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。
- (6) せっかくの機能も不適切な扱いや不測の事態（例えば落雷や漏電など）により故障してしまっても能力を発揮できません。取扱説明書をよくお読みになり、記載されている注意事項を必ずお守りください。

## ● 本商品で使用しているソフトウェアについて

以下に本商品で使用しているソフトウェアのライセンス規約(原文)を記載します。

---

Copyright (c) 1996, 1997, 1998, 1999, 2000, 2001, 2002, 2003, 2004

The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.

Copyright (c) 1982, 1986, 1987, 1988, 1989, 1991, 1992, 1993, 1994, 1995

The Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:  
This product includes software developed by the NetBSD Foundation, Inc. and its contributors.
4. Neither the name of The NetBSD Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE NETBSD FOUNDATION, INC. AND CONTRIBUTORS

"AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

### OpenSSL License

---

Copyright (c) 1998-2003 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:  
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact [openssl-core@openssl.org](mailto:openssl-core@openssl.org).
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgement:  
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---

This product includes cryptographic software written by Eric Young ([ey@cryptsoft.com](mailto:ey@cryptsoft.com)).

This product includes software written by Tim Hudson ([tjh@cryptsoft.com](mailto:tjh@cryptsoft.com)).

### Original SSLeay License

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young ([ey@cryptsoft.com](mailto:ey@cryptsoft.com))

All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young ([ey@cryptsoft.com](mailto:ey@cryptsoft.com)).

The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are adhered to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.

If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:  
"This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"  
The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library being used are not cryptographic related :-).  
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:  
"This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)

HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

WIDE Project

Copyright (c) 1995-1997 Akihito Tominaga

Copyright (c) 1995-1997 WIDE Project All rights reserved.

Permission to use, copy, modify and distribute this software and its documentation is hereby granted, provided the following conditions are satisfied.

1. Both the copyright notice and this permission notice appear in all copies of the software, derivative works or modified versions, and any portions thereof, and that both notices appear in supporting documentation.
2. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:  
This product includes software developed by WIDE Project and its contributors.
3. Neither the name of WIDE Project nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE DEVELOPER "AS IS" AND WIDE PROJECT DISCLAIMS ANY LIABILITY OF ANY KIND FOR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM THE USE OF THIS SOFTWARE. ALSO, THERE IS NO WARRANTY IMPLIED OR OTHERWISE, NOR IS SUPPORT PROVIDED.

---

#### Common Public License Version 1.0

THE ACCOMPANYING PROGRAM IS PROVIDED UNDER THE TERMS OF THIS COMMON PUBLIC LICENSE ("AGREEMENT"). ANY USE, REPRODUCTION OR DISTRIBUTION OF THE PROGRAM CONSTITUTES RECIPIENT'S ACCEPTANCE OF THIS AGREEMENT.

#### 1. DEFINITIONS

"Contribution" means:

- a) in the case of the initial Contributor, the initial code and documentation distributed under this Agreement, and
- b) in the case of each subsequent Contributor:
  - i) changes to the Program, and
  - ii) additions to the Program;

where such changes and/or additions to the Program originate from and are distributed by that particular Contributor. A Contribution "originates" from a Contributor if it was added to the Program by such Contributor itself or anyone acting on such Contributor's behalf. Contributions do not include additions to the Program which: (i) are separate modules of software distributed in conjunction with the Program under their own license agreement, and (ii) are not derivative works of the Program.

"Contributor" means any person or entity that distributes the Program.

"Licensed Patents " mean patent claims licensable by a Contributor which are necessarily infringed by the use or sale of its Contribution alone or when combined with the Program.

"Program" means the Contributions distributed in accordance with this Agreement.

"Recipient" means anyone who receives the Program under this Agreement, including all Contributors.

## 2. GRANT OF RIGHTS

- a) Subject to the terms of this Agreement, each Contributor hereby grants Recipient a non-exclusive, worldwide, royalty-free copyright license to reproduce, prepare derivative works of, publicly display, publicly perform, distribute and sublicense the Contribution of such Contributor, if any, and such derivative works, in source code and object code form.
- b) Subject to the terms of this Agreement, each Contributor hereby grants Recipient a non-exclusive, worldwide, royalty-free patent license under Licensed Patents to make, use, sell, offer to sell, import and otherwise transfer the Contribution of such Contributor, if any, in source code and object code form.  
This patent license shall apply to the combination of the Contribution and the Program if, at the time the Contribution is added by the Contributor, such addition of the Contribution causes such combination to be covered by the Licensed Patents. The patent license shall not apply to any other combinations which include the Contribution. No hardware per se is licensed hereunder.
- c) Recipient understands that although each Contributor grants the licenses to its Contributions set forth herein, no assurances are provided by any Contributor that the Program does not infringe the patent or other intellectual property rights of any other entity. Each Contributor disclaims any liability to Recipient for claims brought by any other entity based on infringement of intellectual property rights or otherwise. As a condition to exercising the rights and licenses granted hereunder, each Recipient hereby assumes sole responsibility to secure any other intellectual property rights needed, if any.  
For example, if a third party patent license is required to allow Recipient to distribute the Program, it is Recipient's responsibility to acquire that license before distributing the Program.
- d) Each Contributor represents that to its knowledge it has sufficient copyright rights in its Contribution, if any, to grant the copyright license set forth in this Agreement.

## 3. REQUIREMENTS

A Contributor may choose to distribute the Program in object code form under its own license agreement, provided that:

- a) it complies with the terms and conditions of this Agreement; and
- b) its license agreement:
  - i) effectively disclaims on behalf of all Contributors all warranties and conditions, express and implied, including warranties or conditions of title and non-infringement, and implied warranties or conditions of merchantability and fitness for a particular purpose;
  - ii) effectively excludes on behalf of all Contributors all liability for damages, including direct, indirect, special, incidental and consequential damages, such as lost profits;
  - iii) states that any provisions which differ from this Agreement are offered by that Contributor alone and not by any other party; and
  - iv) states that source code for the Program is available from such Contributor, and informs licensees how to obtain it in a reasonable manner on or through a medium customarily used for software exchange.

When the Program is made available in source code form:

- a) it must be made available under this Agreement; and
- b) a copy of this Agreement must be included with each copy of the Program.

Contributors may not remove or alter any copyright notices contained within the Program.

Each Contributor must identify itself as the originator of its Contribution, if any, in a manner that reasonably allows subsequent Recipients to identify the originator of the Contribution.

## 4. COMMERCIAL DISTRIBUTION

Commercial distributors of software may accept certain responsibilities with respect to end users, business partners and the like. While this license is intended to facilitate the commercial use of the Program, the Contributor who includes the Program in a commercial product offering should do so in a manner which does not create potential liability for other Contributors. Therefore, if a Contributor includes the Program in a commercial product offering, such Contributor ("Commercial Contributor") hereby agrees to defend and indemnify every other Contributor ("Indemnified Contributor") against any losses, damages and costs (collectively "Losses") arising from claims, lawsuits and other legal actions brought by a third party against the Indemnified Contributor to the extent caused by the acts or omissions of such Commercial Contributor in connection with its distribution of the Program in a commercial product offering.

The obligations in this section do not apply to any claims or Losses relating to any actual or alleged intellectual property infringement. In order to qualify, an Indemnified Contributor must: a) promptly notify the Commercial Contributor in writing of such claim, and b) allow the Commercial Contributor to control, and cooperate with the Commercial Contributor in, the defense and any related settlement negotiations. The Indemnified Contributor may participate in any such claim at its own expense.

For example, a Contributor might include the Program in a commercial product offering, Product X. That Contributor is then a Commercial Contributor. If that Commercial Contributor then makes performance claims, or offers warranties related to Product X, those performance claims and warranties are such Commercial Contributor's responsibility alone. Under this section, the Commercial Contributor would have to defend claims against the other Contributors related to those performance claims and warranties, and if a court requires any other Contributor to pay any damages as a result, the Commercial Contributor must pay those damages.

#### 5. NO WARRANTY

EXCEPT AS EXPRESSLY SET FORTH IN THIS AGREEMENT, THE PROGRAM IS PROVIDED ON AN 'AS IS' BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, EITHER EXPRESS OR IMPLIED INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, ANY WARRANTIES OR CONDITIONS OF TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. Each Recipient is solely responsible for determining the appropriateness of using and distributing the Program and assumes all risks associated with its exercise of rights under this Agreement, including but not limited to the risks and costs of program errors, compliance with applicable laws, damage to or loss of data, programs or equipment, and unavailability or interruption of operations.

#### 6. DISCLAIMER OF LIABILITY

EXCEPT AS EXPRESSLY SET FORTH IN THIS AGREEMENT, NEITHER RECIPIENT NOR ANY CONTRIBUTORS SHALL HAVE ANY LIABILITY FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING WITHOUT LIMITATION LOST PROFITS), HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OR DISTRIBUTION OF THE PROGRAM OR THE EXERCISE OF ANY RIGHTS GRANTED HEREUNDER, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

#### 7. GENERAL

If any provision of this Agreement is invalid or unenforceable under applicable law, it shall not affect the validity or enforceability of the remainder of the terms of this Agreement, and without further action by the parties hereto, such provision shall be reformed to the minimum extent necessary to make such provision valid and enforceable.

If Recipient institutes patent litigation against a Contributor with respect to a patent applicable to software (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit), then any patent licenses granted by that Contributor to such Recipient under this Agreement shall terminate as of the date such litigation is filed. In addition, if Recipient institutes patent litigation against any entity

(including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Program itself (excluding combinations of the Program with other software or hardware)

infringes such Recipient's patent(s), then such Recipient's rights granted under Section 2(b) shall terminate as of the date such litigation is filed.

All Recipient's rights under this Agreement shall terminate if it fails to comply with any of the material terms or conditions of this Agreement and does not cure such failure in a reasonable period of time after becoming aware of such noncompliance. If all Recipient's rights under this Agreement terminate,

Recipient agrees to cease use and distribution of the Program as soon as reasonably practicable. However, Recipient's obligations under this Agreement and any licenses granted by Recipient relating to the Program shall continue and survive.

Everyone is permitted to copy and distribute copies of this Agreement, but in order to avoid inconsistency the Agreement is copyrighted and may only be modified in the following manner. The Agreement Steward reserves the right to publish new versions (including revisions) of this Agreement from time to time.

No one other than the Agreement Steward has the right to modify this Agreement.

IBM is the initial Agreement Steward. IBM may assign the responsibility to serve as the Agreement Steward to a suitable separate entity. Each new version of the Agreement will be given a distinguishing version number. The Program (including Contributions) may always be distributed subject to the version of the Agreement under which it was received. In addition, after a new version of the Agreement is published, Contributor may elect to distribute the Program (including its Contributions) under the new version. Except as expressly stated in Sections 2(a) and 2(b) above, Recipient receives no rights or licenses to the intellectual property of any Contributor under this Agreement, whether expressly, by implication, estoppel or otherwise. All rights in the Program not expressly granted under this Agreement are reserved.

This Agreement is governed by the laws of the State of New York and the intellectual property laws of the United States of America. No party to this Agreement will bring a legal action under this Agreement more than one year after the cause of action arose. Each party waives its rights to a jury trial in any resulting litigation.

---

Apache License  
Version 2.0, January 2004  
<http://www.apache.org/licenses/>

#### TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION

##### 1. Definitions.

"License" shall mean the terms and conditions for use, reproduction, and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.

"Licensor" shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License.

"Legal Entity" shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition, "control" means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.

"You" (or "Your") shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License.

"Source" form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.

"Object" form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and conversions to other media types.

"Work" shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work (an example is provided in the Appendix below).

"Derivative Works" shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on (or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship. For the purposes of this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof.

"Contribution" shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted to Licensor for inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner. For the purposes of this definition, "submitted" means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licensor or its representatives, including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licensor for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as "Not a Contribution."

"Contributor" shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

2. Grant of Copyright License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.
3. Grant of Patent License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer the Work, where such license applies only to those patent claims licensable by such Contributor that are necessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such Contribution(s) was submitted. If You institute patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted to You under this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.
4. Redistribution. You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any medium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following conditions:
  - (a) You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and
  - (b) You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; and
  - (c) You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, patent, trademark, and attribution notices from the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and
  - (d) If the Work includes a "NOTICE" text file as part of its distribution, then any Derivative Works that You distribute must include a readable copy of the attribution notices contained within such NOTICE file, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along with the Derivative Works; or, within a display generated by the Derivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License. You may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License.

You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different license terms and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications, or for any such Derivative Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise complies with the conditions stated in this License.
5. Submission of Contributions. Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submitted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this License, without any additional terms or conditions.

Notwithstanding the above, nothing herein shall supersede or modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Contributions.

6. Trademarks. This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensor, except as required for reasonable and customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.
7. Disclaimer of Warranty. Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensor provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or redistributing the Work and assume any risks associated with Your exercise of permissions under this License.
8. Limitation of Liability. In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) or agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or out of the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses), even if such Contributor has been advised of the possibility of such damages.
9. Accepting Warranty or Additional Liability. While redistributing the Work or Derivative Works thereof, You may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liability obligations and/or rights consistent with this License. However, in accepting such obligations, You may act only on Your own behalf and on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and only if You agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or claims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liability.

END OF TERMS AND CONDITIONS

APPENDIX: How to apply the Apache License to your work.

To apply the Apache License to your work, attach the following boilerplate notice, with the fields enclosed by brackets "[ ]" replaced with your own identifying information. (Don't include the brackets!) The text should be enclosed in the appropriate comment syntax for the file format. We also recommend that a file or class name and description of purpose be included on the same "printed page" as the copyright notice for easier identification within third-party archives.

Copyright [yyyy] [name of copyright owner]

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License");

you may not use this file except in compliance with the License.

You may obtain a copy of the License at

<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied.

See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

お願い

・パソコンの設置や操作方法などについてのお問い合わせは、各パソコンのサポートセンターなどへお願いいたします。

**NEC アクセステクニカ株式会社**

AtermWR9500N (KC) イーサネットコンバータ取扱説明書 (K) 第1版

AM1-001955-001  
2012年2月

